

稲沢市行政改革推進委員会 会議録

【日 時】平成 28 年 8 月 17 日（水） 午後 2 時～午後 3 時 5 分

【場 所】稲沢市役所（2 階） 政策審議室

【出席者】稲沢市行政改革推進委員会委員（敬称略）

栗林 芳彦	名古屋文理大学情報メディア学部教授・ 地域連携センター長
田中 基夫	愛知文教女子短期大学教授
服部 正見	稲沢商工会議所理事
岡田 真志	一般社団法人稲沢青年会議所理事長
恒川 由佳子	稲沢市連合婦人会書記
山内 孝三	稲沢市社会福祉協議会会長
住田 正幸	稲沢市まちづくり連絡協議会監査
家田 尚彦	公募
堤原 美里	公募

【事務局】

大野 紀明	市長
篠田 智徳	市長公室長
足立 直樹	市長公室次長兼企画政策課長
大口 伸	企画政策課主幹
山田 知華	企画政策課主任

【傍聴者】 1 名

【議事次第】

○委嘱状の交付

- 1 市長あいさつ
- 2 会長、副会長の選任
- 3 議事

- (1) 行政経営改革プランの見直し及び進捗状況について
- (2) その他

【会議の概要】

○委嘱状の交付

市長から各委員へ委嘱状を交付

1 市長あいさつ

本日は大変お忙しい中、また、大変暑い中、行政改革推進委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、委員を快くお引き受けいただき感謝いたします。

稲沢市では市民満足度の向上を目指して平成27年度から31年度までを計画期間とした「行政経営改革プラン」、その具体的な実施事項である「行政経営改革プラン行動計画」を策定しております。

本日は本プランの見直し及び昨年度の行政経営改革プラン行動計画の進捗状況について報告させていただきます。

さて、本市においても皆さんがご存じのとおり人口減少、少子高齢化が進展しております。その結果、労働人口が減少し、税収の減少が見込まれます。

歳入が減少傾向にあるなかで、市民のかたにどのように我慢していただいたら将来の子どもや孫の世代までサービスを継続して提供できるかということが行政の大きな課題であります。

また、歳出の面では、団塊の世代のかたが75歳になる2025年まで高齢者人口が増加し続け、この方々の医療、介護の費用が必要になります。

本市では、福祉に関する費用が平成17年から27年までの10年間で約40億円増加しております。この増加分は職員数の削減による人件費の抑制などの行政改革を図ることにより、今日まで財政運営を行ってまいりましたが、職員の削減も限界だと考えております。

福祉のほかにも、老朽化する市の施設の建替えや再編など大きな課題が山積しておりますが、持続可能な行政サービスを図るため、本市の限りある資源・財源を有効に活用し、更なる行政経営改革に取り組んでいく必要があります。

将来の稲沢市を考え、やらなければいけないことはしっかりとやり、削減すべきは削減をしていく覚悟を持って取り組んでいきたいと考えますので、将来の稲沢市を見据え、皆様方がこれまで培われたご経験・ご見識に基づく忌憚のないご意見、ご指導・ご鞭撻をいただければ、大変ありがたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 会長、副会長の選任

委員及び事務局の自己紹介の後、稲沢市行政改革推進委員会設置条例の規定に基づき、委員の互選により、会長に栗林委員、副会長に服部委員を選出。

3 議事

(1) 行政経営改革プランの見直し及び進捗状況について

[会長]

協議事項(1)行政経営改革プランの見直し及び進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

=事務局=

行政経営改革プランの見直し及び進捗状況について説明【資料1、2】

○質疑

[会長]

ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様からのご意見、ご質問を伺います。

[委員]

資料2 p.17の実績影響額について、投資額は3-3-34の「給与の適正化」による人事院勧告に準拠し改正したことによる影響額のことか。

[事務局]

投資額の内訳は、ご質問中の人件費増額分78,061千円と2-1-15「雇用創出、企業誘致の促進」の行動計画の一つである雇用促進、企業誘致奨励措置の影響額348千円を合算したものです。

[委員]

資料2 p.4、5の2-4-21「新たな財源の確保」について、広報いなぎわへの広告掲載やホームページへのバナー広告、ネーミングライツの導入による歳入の確保等の取り組みを実施しているようだが、実績影響額に金額が掲載されていないのはなぜか。

[事務局]

資料2の実績影響額の考え方として、平成27年度以降の新たな取り組みの成果を掲載することとしております。ご質問の広告掲載やネーミングライツについては新たな取り組みではないため、本プランの影響によるものではないと考え、金額を掲載しておりません。

[事務局]

今の回答に補足いたします。資料2 p.5納税カレンダーへの広告掲載の実績影響額10千円収入増とあります。こちらは従来3枠30千円の目標であったものを、1

枠増やして、40 千円の収入がありましたので、10 千円の実績影響額としております。

[委員]

資料 2 p.6 2-4-24 「公共施設の再編・適正化（市庁舎の増築による本庁機能の充実強化）」について、「公共施設再編に関する考え方」に基づき検討を行ったとあるが、「福祉の拠点」及び「防災の拠点」の整備はどのような検討の結果になったのか。

[事務局]

行政経営改革プラン p.49 に、市庁舎の増築（「福祉の拠点」及び「防災の拠点」の整備）という行動計画を掲げており、平成 27 年度の取り組み目標は、基本構想の策定としております。

現在の状況は、財政課を中心として、庁内の検討組織を立ち上げて検討を行っているところであり、平成 28 年度も引き続き検討をしております。

[委員]

場所などは検討しているのか。

[事務局]

場所なども検討しておりますが、まだ公に発表できる段階ではありません。

[委員]

検討はしているが、結論に至っていないという状況か。

「検討を行った」という表現だと、結論が出たという印象を持つため、一般の市民のかたには通じにくいと感じる。「結論に至っていない」ということが分かるように工夫をすると良い。

[委員]

太陽光発電やふるさと寄付の制度など、その時期によって盛り上がりを見せる取り組みがあると思うが、プランの追加や変更は可能なのか。

[事務局]

平成 22 年度から 26 年度に実施した前回のプランの実績では、取り組みの中で項目を追加したことはございますが、削除はしていません。必要に応じて委員会の場で御承諾を得て、項目の修正、追加することも考えておりますので、よろしくお

願います。

[委員]

世の中の流れや、政治の流れというものに対応していくことが必要だと思う。

早く取り組んだものや、先にやったものが勝ちという考え方もあるため、市民のかたに向かって稲沢市として取り組んでいくと、喜んで住んでもらえる市になるのではないかと思う。

[委員]

資料2の影響額のように、金額でいくら減らせたかを評価の指標として用いているが、金額が減らなくても同じ予算でより大きな成果をあげることも行政改革だと考えられる。総額で使ったお金が減れば良いという考え方もあるが、同じお金でより多くの効果が上がることも、結果的に使ったお金が減ることと同じことなので、そのような取り組みをどのように評価するのも考えなくてはならないと思う。

そうした取り組みをどのように表現したらいいのかは、すぐに思い付くものではないが、「この金額は変わっていないけれども、こんなに沢山の効果を上げた」、「出費は多少増えたけれども、将来的に多くの成果を得られる」といったことを示せたらいいと思う。

[会長]

意見等が出尽くしたようですので、審議を終結したいと思います。

最初の事務局の説明で、本日の会議での意見等を踏まえて、行動計画の見直し案を確定したいとのことでしたが、今後の予定について、説明をお願いします。

[事務局]

今後の予定について、説明させていただきます。

委員の皆様方からいただきましたご意見等につきまして、市で検討し、その結果を委員の皆様方に送付させていただき、内容の確認をお願いしたいと存じます。

また、その際に新たなご意見があれば承ります。

追加のご意見等も含めて、最終的に栗林会長にご了解いただいた見直し案を確定とさせていただきます、市民への公表資料としていきたいと考えております。

[会長]

事務局から今後の予定について説明がありました。

本日の会議で出た意見等への対応を市側で検討され、その結果を委員の皆様にご提示させていただきます。最終的な内容の確認は、会長一任でお願いしたいとのことですが、委員の皆様のご意見はいかがでしょうか。

(意見等なし)

[会長]

特に意見も無いようですので、修正した行動計画の最終確認は、私の方でさせていただきます。

本日の協議事項については以上になります。何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

[委員]

昨年度までの行政改革委員会では外部評価を実施していたが、今回の委員会ではどのようにするのか。

[事務局]

昨年度の外部評価をお願いしておりましたが、今回につきましては行政改革推進委員の皆様へ行政経営改革プランの進捗状況についてご指摘を賜りたいと考えております。

また、先程委員から助言いただいたように、推進方法として PDCA サイクルをとり入れ、委員の皆様のご意見を踏まえて随時見直しを行い、プランの推進について委員の皆様にお諮りさせていただきたいと考えております。

現時点において、外部評価の実施については考えておりません。

[会長]

他に意見等も無いようですので、これで全ての審議を終結したいと思います。

事務局から何かあればお願いします。

[事務局]

慎重審議をいただき、ありがとうございました。

本日、委員の皆様方から賜りましたご意見等を踏まえ、今後の事務を進めてまいります。

それでは最後に、市長公室長から一言申し上げます。

○市長公室長あいさつ

慎重審議を賜り、誠にありがとうございました。

皆様からご意見をいただいたとおり、行政改革につきましては皆様のお立場、目線から、我々が考えつかないような御意見などが頂戴できればと思っております。

5年間のプランであるものの、毎年見直しを図り、ご意見をいただければ、取り入れていきたいと考えております。また、ご指摘のとおり、評価の指標について、金額に偏ってしまう部分がありますが、市民サービスの向上等のように、金額に表れないこともあるため、皆様のご意見を踏まえて、来年度以降どのように効果を表していくのかを検討していきたいと考えております。

本日は、貴重なご意見ありがとうございました。皆様方におかれましては本日委嘱状をお渡しさせていただき、任期が3年間ということですが、お世話になりますのでよろしくお願いいたします。

お帰りの際には、交通事故にくれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。